

★11月中旬発行!

戦闘機がやってくる! 揺れる基地のまち。

あくまで市民を信頼し共にたたかった市長が、
国のアメとムチの実態を洗いざらい語り、

この国の民主主義のあり方を問いかける!

岩国に吹いた風

米軍再編・市民と共にたたかう

前岩国市長

井原 勝介 著

■四六判・264頁

■定価1,890円(税込)

ISBN 9784187498143 114

www.koubunken.co.jp
E-mail=gyoumu@koubunken.co.jp
FAX03-3295-3417 電話03-3295-3415

東京都千代田区猿楽町2-1-8
FAX03-3295-3417

高文研

著者略歴 一九五〇年生まれ。東大法学部を出て労働省に入る。タイの日本大使館外交官や大臣秘書官なども務めるが、直接市民と共に民主的社會を築く政治の世界への思いに駆られ、99年、郷里の岩国市長選に出て当選、06年には、米軍再編をめぐる住民投票を実施、その結果を踏まえて反対を貫いてきたが、07年、米軍再編容認の議会と対立、予算と引きかえに辞職。08年2月の市長選で敗れた。その後「草根ネットワーク岩国」を設立。新たな政治の学び舎「草莽塾」を主宰する。

瀬戸内海に面した岩国基地には、米海兵隊の戦闘機が約六〇機、そこへ米軍再編ごおり神奈川県・厚木の空母艦載機約六〇機がやってくれば、戦闘機数で極東一の航空基地となる!
まちの人々は「住民投票」で圧倒的多数が米軍再編に反対! だが建築途中の新市庁舎の補助金を打ち切られた上、米軍再編容認の議会と対立、何度も予算案を否決された市長はついに首に手をあてて……。

●おもな目次●

- 序章 岩国のまちと私
- I章 すさまじい選挙
「首」をかけて予算を通す
出直し選挙
なぜ敗れたのか
- II章 米軍再編
「米軍再編中間報告」を受けて湧き起こった反対の声
防衛省との協議
- III章 圧倒的な民意
住民投票の決断
住民投票の実施
- IV章 国のアメとムチ
新庁舎建設補助金の突然のカット
新年度予算案の否決
米軍再編への今後の方針と錦帯橋一万人集会
- V章 県が加えた露骨な圧力
「民間空港」再開問題
「愛宕山開発」の中止問題
- VI章 首をかけて
岩国は決して負けない
- VII章 愛宕山の米軍住宅化をめぐるこれが法治国家なのだろうか?

貴店印

様) (ご担当者)

東京千代田区猿楽町二一八三恵ビル 高文研
電話03-3295-3415
FAX03(3295)3417

冊

岩国に吹いた風
米軍再編・市民と共にたたかう
井原 勝介 著

定価1,890円(税込)

※お近くの書店に本票をお持ちいただきご注文ください。また代金引換(手数料210円)で直接発送も可能です。

ご住所 (〒 -)

お名前 様

TEL